

定例会見(平成25年1月30日)

議事次第

定例会見 代表取締役社長 菅原 秀夫

会見内容

1. 八重洲線(汐留～新橋)の通行止め期間短縮
2. 晴海線(晴海～豊洲)の事業進捗
3. 中央環状品川線開通に向けたトンネル内温度上昇抑制対策
4. 二輪車交通事故への取組み(東京スマートライダーの立上げ)
5. 最近の通行台数状況
6. 技術コンサルティング事業について
7. 海外事業について
8. 「改善」の取組み
9. 開通50周年記念事業の展開

質疑応答

1. 首都高八重洲線（汐留～新橋）の通行止め期間短縮

(1)概要

- ・東京都市計画道路環状第2号線整備のため、首都高八重洲線（北行き・南行き）一部区間の架替工事を実施中。
- ・既設橋脚3本および橋桁の撤去完了、今後は新設橋脚2本の施工および新設橋桁架設を実施



現場の状況(1/9汐先橋交差点)



多軸台車による橋桁の運搬(撤去時)

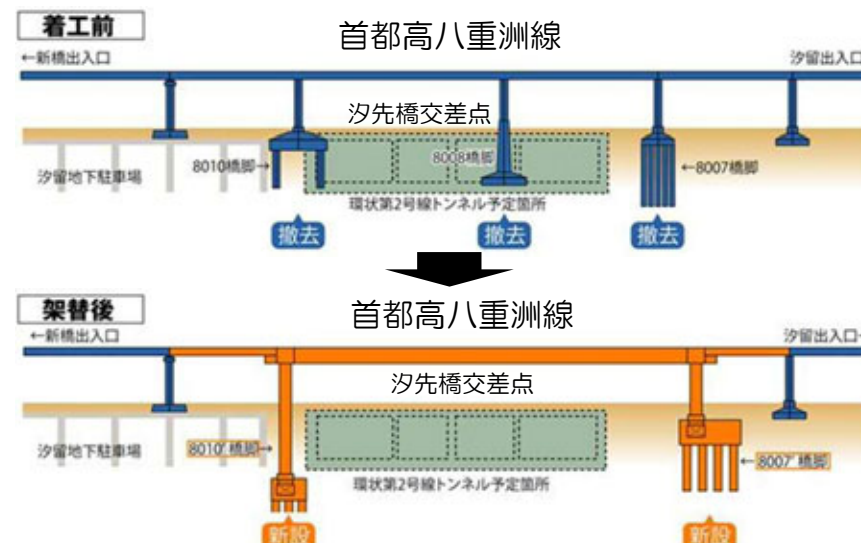
(2)通行止期間

平成24年7月8日(日)～

平成26年2月（約20ヶ月）

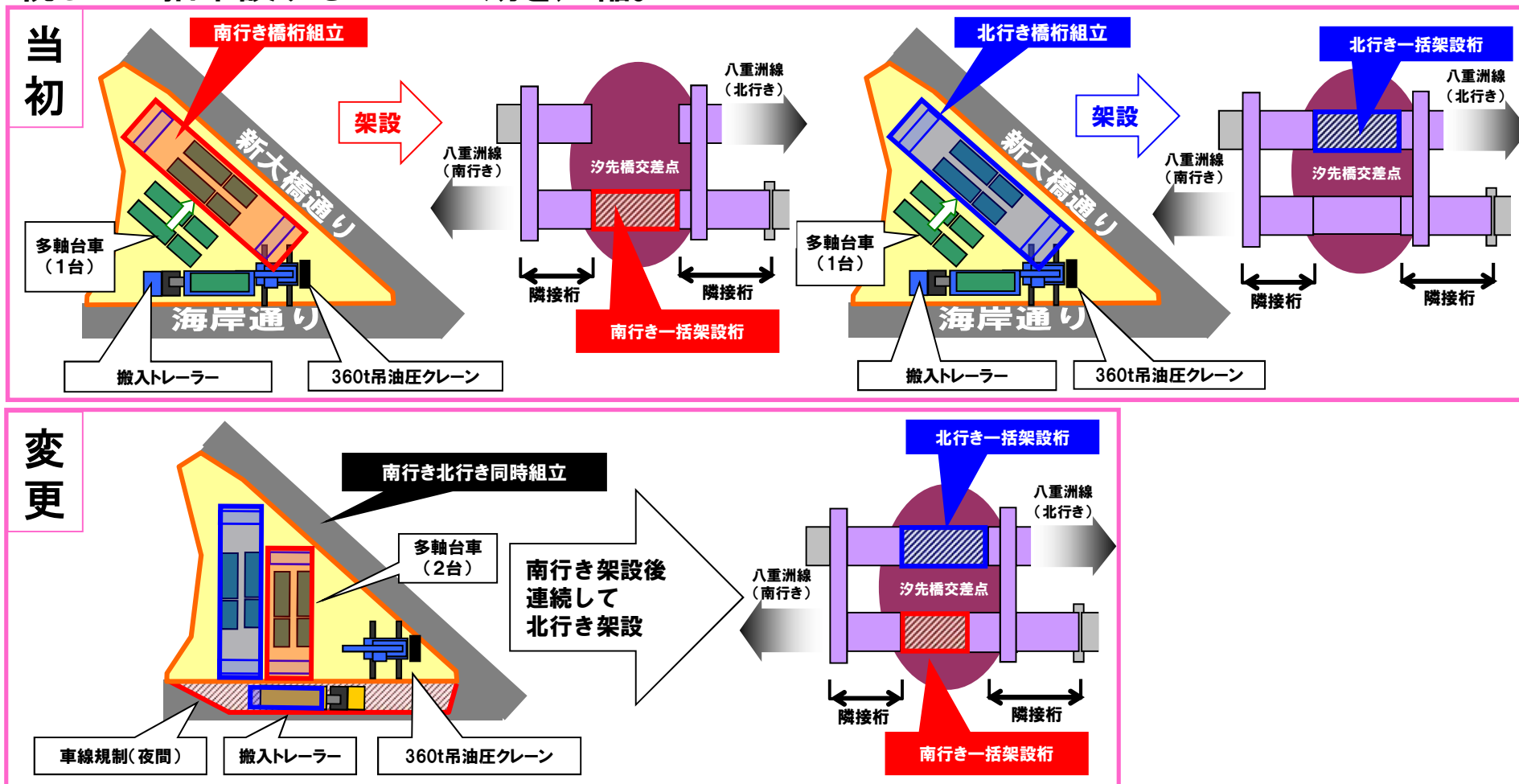


平成25年12月(約18ヶ月)



(3)架設方法の変更による短縮

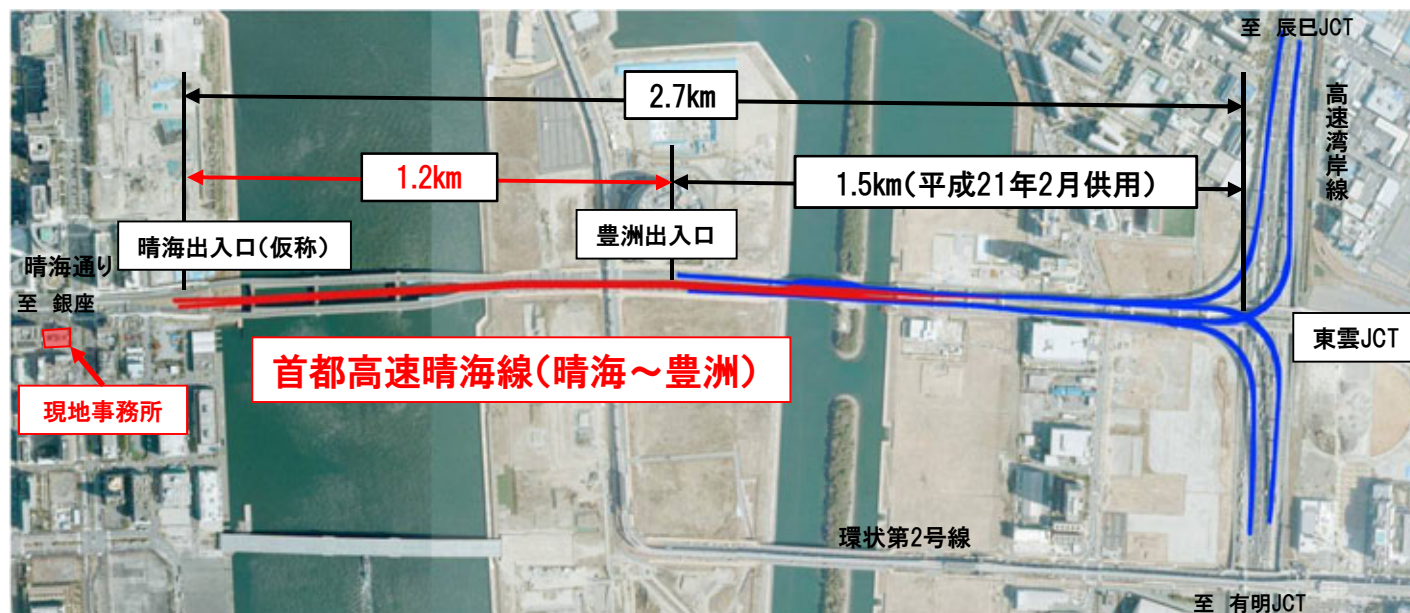
当初は南行きおよび北行き2本の新設橋桁を順次組立し順次一括架設としていたところ、多軸台車を1台から2台同時に使用に変更したことにより2本の新設橋桁を同時に組立し、連続して一括架設することで工期を短縮。



2. 晴海線（晴海～豊洲）の事業進捗

○本体工事を今月契約予定

○今後、工事監督・安全管理の強化のための現地事務所を開設し、関係機関及び地元の方々と夏頃の工事着手に向けた協議を開始



概要図



位置図

事業概要(晴海～豊洲)

- ◇整備区間;中央区晴海二丁目～江東区豊洲六丁目
- ◇延長;1.2km
- ◇完成予定年度;平成27年度

事業の位置付け

- ◇臨海部開発事業における交通基盤の一部
- ◇月島地区、晴海地区等、周辺の交通状況の改善
- ◇臨海部の開発に対応した湾岸線との連絡強化および物流の効率化

3. 中央環状品川線開通に向けたトンネル内温度上昇抑制対策

(1) トンネル内の温度上昇について

- 山手トンネルは、トンネル延長が長く、交通量も多いことから、走行車両の排熱等によりトンネル内の温度が上昇。

※二輪車のお客様からのご意見が多い。

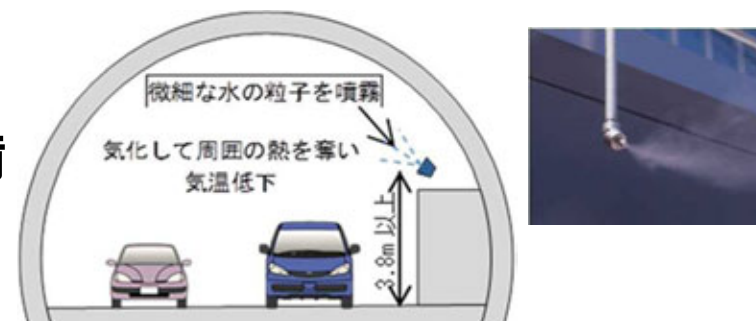
※首都高の二輪車利用台数は約3,500台/日。

- そこで昨年夏、ミスト噴霧設備を試験的に実施した結果、積極的に外気を取り入れる換気運転とあわせて5℃程度（ミストで2℃程度、換気運転で3℃程度）の温度上昇抑制効果が確認できた。
- 中央環状品川線が開通すると、全長約18kmのトンネルとなり、更なる温度上昇が予測されることから、温度上昇抑制対策としてミスト噴霧設備を整備することとした。



(2) ミスト噴霧設備の整備

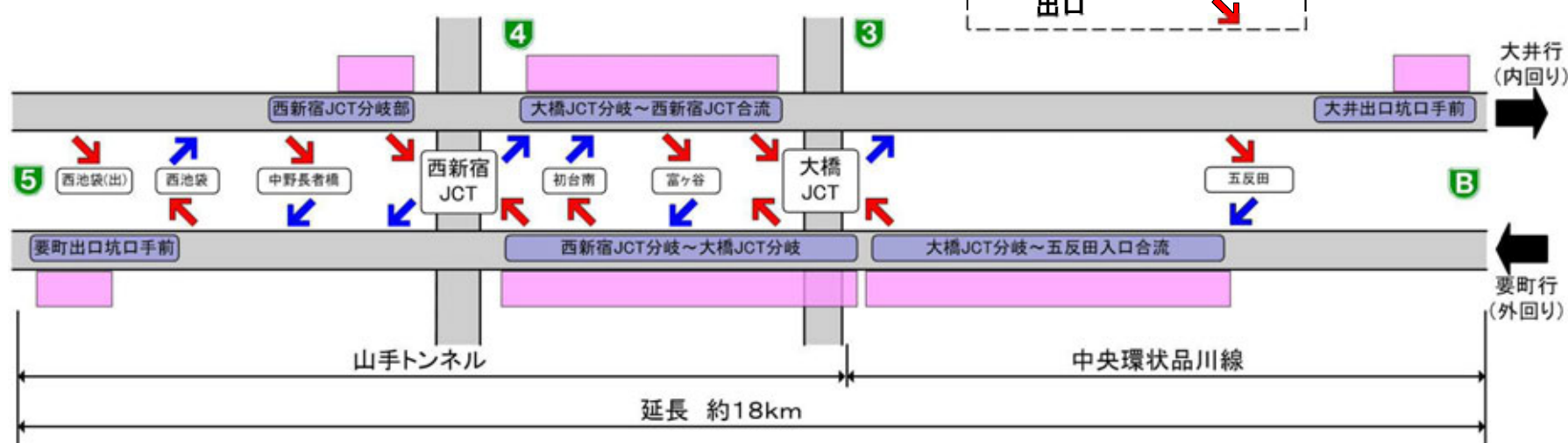
中央環状品川線の開通後に温度上昇が予測されるJCT及び出口坑口付近にミスト噴霧設備を整備する。



ミスト噴霧設備イメージ

【整備箇所】 6箇所（延べ 約10km）

- 西新宿JCT, 大橋JCT接続部付近
- トンネル出口坑口付近



4. 二輪車交通事故への取組み（東京スマートライダーの立上げ）

(1) 二輪車交通事故の現状

- ・二輪車の交通事故の多くは転倒を伴うため、人身事故に直結
- ・平成24年度に入り、二輪車の死亡事故が増加

二輪車事故件数の推移（ ）は死亡事故件数

H22年度・193（2）、H23年度・166（3）、H24年度[～12月]・128（5）

- ・今年度の首都高速道路で発生した10件の死亡事故のうち、5件が二輪車の死亡事故

(2) 二輪車交通事故の交通安全対策の実施

- ・二輪車への注意喚起看板の設置
- ・PA等で休日に二輪車事故防止キャンペーンの実施、PA等へのポスター掲示
- ・黄バイ隊による模範走行パトロールの実施



注意喚起看板



二輪車事故防止キャンペーン



ポスター

(3)二輪車交通事故への新たな取り組み(市民参加型二輪車交通安全運動)

①東京スマートライダーの立ち上げ

- ・昨年12月6日に発足式を川崎大師で開催
- ・全国から集まったライダー122名とともに交通安全宣言採択

②情報提供等の啓発活動

- ・HP等で二輪車に特化した情報を提供して行く他、バイク利用時期に合わせ、啓発活動を実施予定

平成25年3月 東京モーターサイクルショー(東京ビッグサイト)



発足式 全体写真

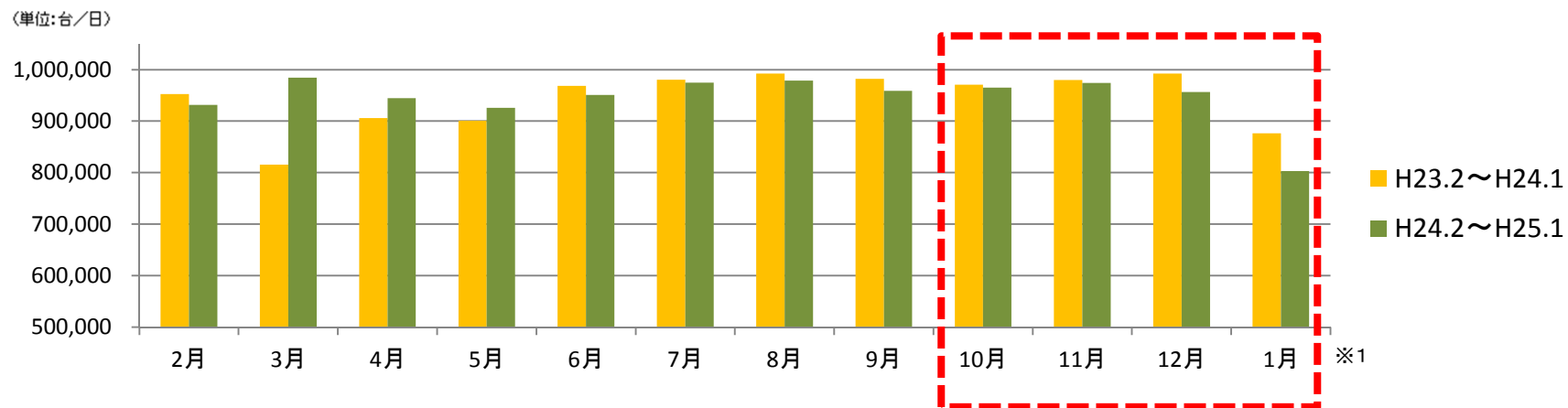


東京スマートライダー 黄バイ隊

5. 最近の通行台数状況

(1) 通行台数の推移(最近の状況)

- ・交通量が前年度を若干下回る傾向が継続している。特に1月は大雪の影響により減少している。



	10月	11月	12月	1月※1
通行台数(台/日)	964,947	974,358	956,564	803,100
前年同月比※2	99.4%	99.4%	96.4%	91.7%

(2) 距離別料金移行後の交通状況

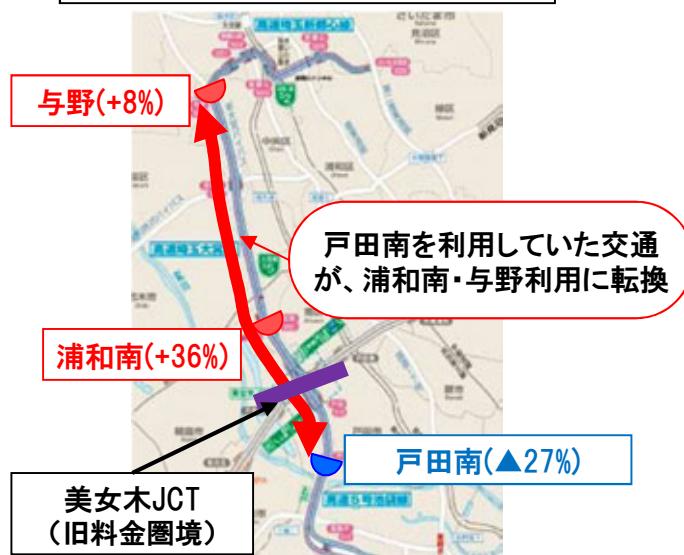
【速報(12月平日)】

○ 利用台数(旧料金圏境の断面交通量)(平日(月～土))

	地点	移行前(H23)	移行後(H24)	対前年比
旧東京線—旧埼玉線 断面	美女木JCT付近	27,200台/日	34,800台/日	+28%
旧東京線—旧神奈川線 断面	羽田および浮島付近(合計)	137,800台/日	151,900台/日	+10%

○ 旧料金圏境における交通量の変化(平日)

【旧東京線-旧埼玉線 断面】



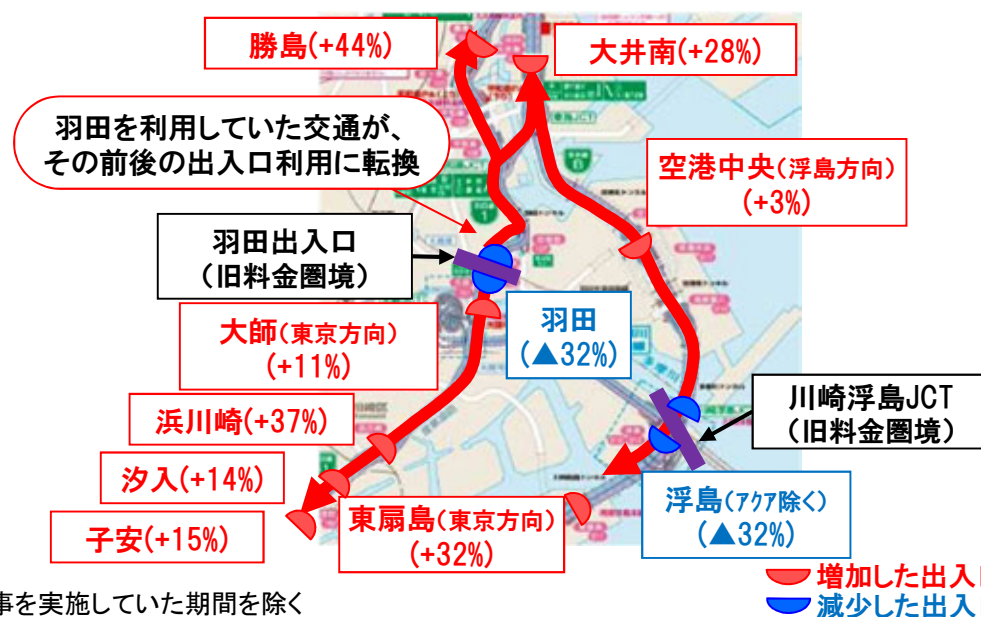
【出典】

車両感知器データ

【移行前(H23.12)：平成23年12月平日(月～土)平均】

【移行後(H24.12)：平成24年12月平日(月～土)平均】

【旧東京線-旧神奈川線 断面】



※ 料金所安全対策工事を実施していた期間を除く

6. 技術コンサルティング事業について（平成24年度新規受注状況）

平成25年1月24日現在

●国内技術コンサルティング事業 ⇒ 平成24年度新規受注件数：13件

（参考 平成23年度新規受注件数：17件）

《今年度受注業務》 ※下線は前回の会見以降の追加分（11月以降）

	件 名	発注者	契約者
	平成24年度ゲートブリッジ橋梁点検委託	東京都港湾局	(一財)首都高速道路技術センター
	平成24年度レインボーブリッジ橋梁点検調査委託	東京都港湾局	
	平成24年度PC橋の維持管理のため技術資料検討業務	国土交通省道路局	
	平成24年度鋼製橋脚隅角部の補修・補強工法検討業務	福岡北九州高速道路公社	
※	超高力ボルトの摩擦接合性能の確認試験及び再現解析等業務	国土技術政策総合研究所	
※	熱影響を受けた鋼道路橋の損傷状態の評価に係る加熱試験等業務	国土技術政策総合研究所	
	H24鋼橋疲労損傷技術資料等作成業務	関東地方整備局 関東技術事務所	(一財)首都高速道路技術センター ((財)海洋架橋・橋梁調査会とのJV)
	舞浜入路巡回点検業務	浦安市	首都高技術(株)
	水神大橋耐震補強詳細及び概略設計	東京都建設局	
	橋梁健全度調査等委託	中央区	
※	警視庁大塚警察署庁舎(24)改築工事 (首都高速道路への近接影響検討)	(株)長谷エコーポレーション	
	H24管内橋梁点検(その1)業務	関東地方整備局 常陸河川国道事務所	首都高技術(株) (八千代エンジニアリング(株)とのJV)
※	舞浜大橋耐震補強設計業務24M8	関東地方整備局 千葉国道事務所	首都高技術(株) ((株)エイト日本技術開発とのJV)

●建物耐震診断業務 ⇒ 平成24年度新規受注件数：10件（マンション：3件、事務所・店舗ビル：7件）

（参考 平成23年度新規受注件数：4件）

7. 海外事業について

(1) 海外コンサルティング業務（新規受注案件）

平成22年からタイ、インドネシア、ベトナム、ミャンマー等で海外コンサルティング業務を実施。
新たに受注した下表の2件を含め7件の業務を実施中。(これまでに完了した業務は9件)

相手国	発注者	プロジェクト名	工期	受注者	当社 担当内容
ポルトガル	NEDO	ポルトガルにおけるスマート都市 構想実現化に向けた基礎調査	平成25年1月 ～平成25年3月	日本総合研究所・ NTTデータ・NTTドコ モ・三菱重工業JV (NTTデータから当社へ 再委託)	都市交通
タイ	DMT	ドンムアン有料道路交通管制シ ステム更新計画策定調査	平成25年1月 ～平成25年4月	当社単独	ITS

(注) NEDO：独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
DMT：ドンムアン有料道路 株式会社

(2) ミャンマー国 建設省からの研修員受入

昨年3月にミャンマー国 建設省副大臣(現大臣)が当社を訪問されたことを契機に、橋梁技術に係る研修員を受け入れることが決定。4名の研修を昨年11月に実施。



写真は、ミャンマー国の研修員と当社菅原社長ほか国際関係担当役職員

(3) タイ高速道路公社 (EXAT) とのジョイントセミナー開催

1月21日(月)～23日(水)の3日間、タイ国バンコクにおいて、タイ高速道路公社(EXAT: Expressway Authority of Thailand)と首都高グループ(首都高速道路(株)、首都高技術(株)、(一財)首都高速道路技術センター)により、「橋梁構造物における効果的な維持管理」をテーマとしたセミナーを開催。



最も古い路線が開通から40年経過しているバンコク市内の道路を管理するEXATに対し、維持管理の重要性を再認識いただく機会とするだけでなく、首都高グループの保有する高い技術力をアピール。今後も継続的に技術交流を進めていく予定。

8. 「改善」の取組み ～質の高いサービスの提供を目指して～

○首都高速道路(株)では、「お客様第一」の経営理念に基づき、お客様にご満足いただける質の高いサービスの提供を目指しています。

○ホームページに設けた「グリーンポスト」や、電話でのお問合せ窓口「首都高お客様センター」等を通じて、お客様から頂いたご意見を基に平成24年7月～12月は、75件の改善を実施しました。

お客様からお寄せいただいた「お客様の声」は施設などの改善に反映しています。

No.	分類	場 所	お客様の声	対 応	完成時期
①	看板・標識	湾岸線(東行き)大井(東行き)PA手前付近	大井(東行き)PAの案内看板がわかりにくいため改善してほしい。	案内看板の改善	H24.10
②		湾岸線(東行き)有明JCT分流付近	9号深川線箱崎方面向かう予定だったが路面標示が紛らわしく、分かりづらいため、豊洲の出口で首都高をおりてしまいました。	有明JCT分流後の路面文字を「箱崎」から「豊洲」に改善	H24.11
③		4号新宿線(下)幡ヶ谷出口	「信号機あり注意」の横断幕が夜見えなため、信号に気付かずに出てくる車ごく稀にあるため危険です。	横断幕「信号機あり注意」を反射式横断幕へ変更	H24.9
④	舗装	首都高5号池袋線(下り)浦和南集約料金所手前	料金所手前ゼブラゾーンの路面が荒れていて不快な乗り心地になります。	ゼブラゾーンの段差を補修	H24.9
⑤	安全対策	4号線(下り)新宿出口先の左カーブ区間のジョイント部	4号線(下り)新宿出口先の左カーブ区間のつなぎ目が滑って危険です。	左カーブ区間のジョイント部鋼製部分へ滑り止め対策を実施	H24.12

No.	分類	場 所	お客様の声	対 応	完成時期
⑥	安全対策	神奈川1号横羽線(下り)浜川崎出口	浜川崎出口は、時間帯によって本線まで渋滞が伸びていることもあります。	浜川崎出口付近に渋滞注意の喚起板の設置	H24.12
⑦		5号線(上り)竹橋JCTから都心環状線(内)に入る竹橋JCTカーブ手前	5号線(上り)竹橋JCTから都心環状線(内)に入る竹橋JCTカーブ先で、渋滞している車にぶつかりそうになります。	5号線(上り)竹橋JCTから都心環状線(内)に入る竹橋JCTカーブ手前に渋滞車両に対する注意喚起のためLED表示による注意喚起板を設置	H24.6
⑧	渋滞対策	湾岸線(東行き)東京港トンネル	東京港トンネル(西行き)の渋滞が日中ひどいです、対策はないのですか？	湾岸線(西行き)東京港トンネル速度低下の注意喚起のため『速度低下注意』の路面文字を追加	H24.12
⑨	景観対策	箱崎JCT高架下箱崎川第二公園付近	高架下から見える高速の壁がかなり汚れていて景観がよくありません。	箱崎JCTの壁面清掃を実施	H24.10
⑩	走行環境対策	中央環状線、山手トンネル内	山手トンネル内の温度が高いため、下げてほしい。	トンネル換気設備を用いた重点的な送風運転の実施やミスト噴霧試験を実施	H24.7

(注)改善事例⑨及び⑩については、添付資料を省略。

なお、改善事例⑩は、HP更新情報・平成24年07月19日「高速中央環状線山手トンネルにおける温度上昇抑制対策の試験実施のお知らせ」をご参照ください。

改善事例（１）

湾岸線(東行き)大井(東行き)PAの案内看板がわかりにくいため、案内看板を修正

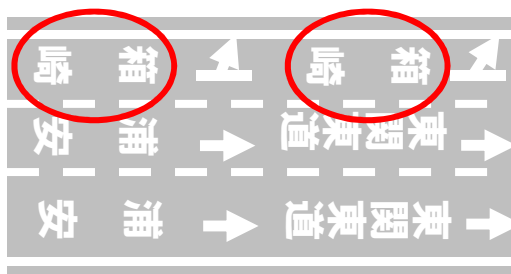


改善事例（２）

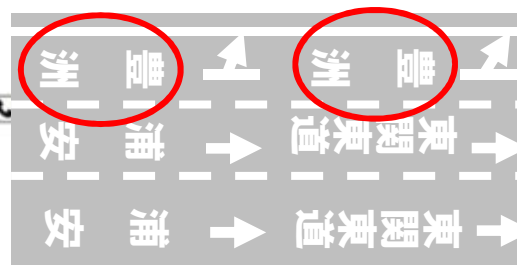
9号深川線箱崎方面の路面標示が紛らわしく、分かりづらいため、有明JCT分流後の路面文字を「箱崎」から「豊洲」に修正



【現況】



【改善】



有明JCT

東関東道
へ

改善事例（3）

4号線新宿(下り)幡ヶ谷出口にある「信号機あり」の横断幕が夜間見えにくいいため、夜間でも視認性がよい反射式横断幕に変更



反射式横断幕の夜間視認性効果を比較

反射式

昼間



通常

夜間



改善事例（４）

5号線池袋線(下り)浦和南本線料金所手前の路面が荒れていてたため、料金所出前のゼブラゾーンの段差を補修



対策後

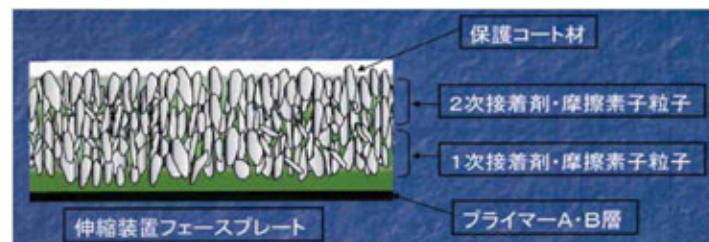


改善事例（５）

4号線新宿(下り)新宿出口先の左カーブ区間のつなぎ目がすべりやすいため、ジョイント部鋼製部分へ滑り止め対策を実施



改良後（拡大）



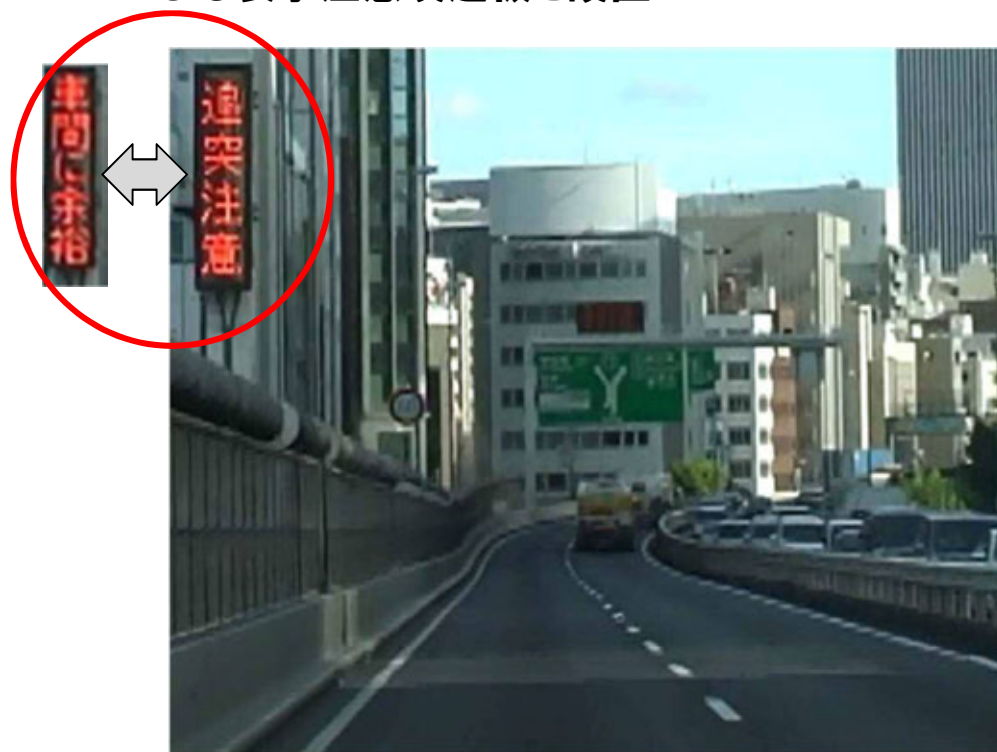
改善事例（6）

神奈川1号横羽線(下り)浜川崎出口は時間帯により本線まで渋滞が伸びていることから、浜川崎出口付近に渋滞車両に対する注意喚起板を設置



改善事例（7）

5号池袋線(上り)竹橋JCTから都心環状線(内回り)に入る竹橋JCTカーブ先での渋滞車両に対する注意喚起のため、「車間に余裕」と「追突注意」を交互に表示させるLEDによる表示注意喚起板を設置



9. 開通50周年記念事業の展開

首都高開通50周年事業の一環として、以下のイベントを実施。

○ 首都高講座(50周年特別版)

- 首都高がつなぐ「陸」・「海」・「空」のテーマに基づき、首都高と関係のある企業とコラボレーション企画を実施中。
- 第三弾として3月に首都高がつなぐ「陸」をテーマに京浜急行電鉄株式会社とコラボレーションして、久里浜にある車両整備工場を訪問予定(3月発行の首都高News3・4月号にて15組(30名)を募集予定。)

～これまでの実施内容

第一弾(8/23)…成田国際空港で「空」の管理を学習。

第二弾(12/6)…シンフォニーモデルナ号に乗船し「海」の魅力を体験。

